



令和6年9月30日 横浜市立緑小学校

# 緑小だより 10月号

ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

URL <http://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/midori>



## 「めあて」について考える

校長 寺澤 みゆき

今年の夏は、観測史上一番真夏日が多いと言われた昨年以上に暑い日が続き、9月も最高気温が30度以上になる日が18日もありました。まだ、学校生活においても、配慮が必要な状況です。明日から10月。気候が落ちつき、過ごしやすい気温になることを願うばかりです。

10月は、前期と後期の切り替えの時期でもあります。学校では、できるようになったことを子どもと確認し、成長やさらに伸ばしたい力を確かめる時期になります。子どもの現在の状況を確認するために「あゆみ」をご活用いただくとともに、子どもの頑張りをほめていただけたらと思います。

さて、子どもたちは、前期にどのようなめあてを立てていたのでしょうか。教室の掲示や、ノートやワークシートなど、いたるところに目標やめあてが書かれています。それは、子どもたちが学習や生活の中で、「この教科では・この単元では・この活動では」、「こうなりたい・こんな力をつけたい」と考え立てたもので、いわば「短期目標」です。短期目標は、できるようになったのか、まだ達成できていないのかが分かりやすいものです。そして、達成できなかった場合は継続して努力したり、難易度を下げ、めあて自体を現状に合わせて見直したりします。達成できた時は、新たな課題をみつけ、めあてを立てます。

保護者の皆様には、学期末のこの機会を生かし、子どもの「長期目標」について考えていただけたら、と思います。

9月19日に前人未到の「50本塁打&50盗塁(50-50)」を達成し、その後も毎日のように記録更新が話題になっている大谷翔平選手は、高校1年生の時、「8球団からのドラフト1位指名」という夢をもったそうです。

大谷選手は、その大きな目標を達成するためには「体づくり・コントロール・キレ・メンタル・スピード160キロ・人間性・運・変化球」の8つの要素が必要だと考え、その一つひとつを自分の身につけるために、更に具体的な目標を決めました。

例えば、「運」を身につけるためには、「あいさつ・ゴミ拾い・部屋のそうじ・道具を大切に使う・審判さんへの態度・プラス思考・応援される人間になる・本を読む」といった8つのことを実行しよう決めました。大谷選手は、なるべく具体的に、また少し高い目標にしたと話しています。

大きな目標を達成するために必要な要素を細分化し、具体化した小さな目標を着実にこなすことで、大谷選手はその成果を着実に、手中に収めていったと言えるでしょう。

お子さんの将来の夢は、何でしょうか。保護者の皆様は、10年後に、お子さんがどのように成長してほしいでしょうか。そこを目指して、「小学校卒業までにこんな力を身に付けたいから、〇年生ではここまでできるようにしたい」と考えていくと、大きな目標の実現に向かう道筋が見えてくると思います。

保護者の皆様、地域の皆様、教職員一同、力を合わせ、夢あふれるみどりっ子の育成に取り組んでおります。今後とも、共に育て見守ってくださいますよう、お願い申し上げます。